

第2号議案

令和5年度事業計画(案)及び収支予算(案)の承認について

令和5年度事業計画(案)

1. 事業実施の方針

本年度は昨年に引き続き異常気象やウクライナ情勢、物価高騰が続き畜産経営を圧迫して畜産農場の長期的な影響が懸念される状況にあります。

一方、アジアで猛威を振るっている口蹄疫やASFは韓国、タイ、インドネシア、中国等のアジア周辺諸国において、引き続き発生しており、国内への侵入リスクは依然として高い状況です。このようなことから、畜産農場はより一層飼養衛生管理の強化が求められているところです。

このため、公益社団法人千葉県畜産協会の指導の下、状況を鑑みながら農場HACCP推進指導事業やBSE検査の協力、家畜飼養、衛生環境等の指導力向上に努めるとともに畜産経営の向上、消費者への畜産理解と消費の拡大を推進します。

2. 主な事業活動

(1) 農場HACCP構築支援指導 (公益社団法人中央畜産会)

本事業は今年度が(3年間)2年目となります。現在農場HACCP認証構築指導に取り組んでいる農場の認証に向けてより一層の推進を図っていく予定です。

また、県内の認証農場(46農場)も多くなっていることから認証農場への内部監査や従業員の教育・訓練等の更なる飼養衛生管理強化向上の支援に努めます。

(2) JGAP認証構築等支援

県と連携を図り希望農場へのJGAP畜産版の普及推進、構築支援に努めます。

(3) 死亡牛等の受入及び保管等補助業務受託(公募千葉県：事業費3,674千円)

昨年同様に中央家畜保健衛生所(佐倉)との委託契約に基づき‘死亡牛等の受入及び保管等の業務を補助する業務’を推進します。(会員4名、1年間：167日実施)

3. 畜産研修会：千葉市内等2回開催予定。

4. 人材情報システム運営及び畜産情報収集・提供事業

(1) 本会のホームページのさらなる充実

(2) 今年度も千葉県農業大学校からの畜産部門講座の非常勤講師の依頼があり、畜産人材バンク登録者の本会会員を紹介しました。本会会員の活躍の場を広げるため、これからも各方面への人材提供に努めます。

5. 畜産団体事務受託事業

(公社)千葉県畜産協会等からの要請に応じて本会員を派遣して事務処理に努めます。

6. 消費者交流・動物情操教育事業

(1) (公社)千葉県畜産協会や千葉県馬事畜産振興協議会が実施する畜産フェアに参加して、消費者に対して畜産を正しく理解してもらうための広報に努めます。また、他の催しにも積極的に参加し、畜産相談等のコーナーを展開します。

(2) (公社)千葉県畜産協会や関係団体主催の畜産ふれあい体験交流・研修会等へ積極的に参加するよう努めます。

7. 調査・試験研究事業

畜産振興を図る上で、行政機関や研究機関・畜産団体等からの調査・研究事業を積極的に受託、または協力・支援に努めます。

8. その他

本会の目的を達成するために必要な事業の実施。

9. 総会・理事会等の開催

(1) 総会・理事会：本会の円滑な活動を推進するため適宜開催します。

(2) 各部会活動等

上記各事業を適正かつ効率的に実施するため、役員、各部会長の指示のもと、必要に応じて会議を開催するとともに所要の活動を実施します。